研究レポート No. 1016　岩手県農業研究センター
発行　令和３年３月

りんご「大夢」の正品率向上のための摘果強度

【１　成果の概要】

(1)「大夢」の摘果強度は、**１果/６頂芽以上の強い摘果とした場合に、正品率※が低く、裂果の割合が高くなります。**また**１果/４頂芽程度の摘果では、着果過多となります**（表１）。

※正品率とは
障害果（キズ、日焼け、鳥害、ビターピット等外観的に障害が確認できる果実）および成熟異常果を除いた果実の割合。

表１　摘果強度別果実品質および収量・正品率・裂果率（2016～2020 年平均）

摘果強度（１果あたり）	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)	正品率※ (%)	裂果率 (%)	1樹当たり収量(kg)	10a当たり収量(kg)
4頂芽程度	568.5	13.3	14.4	0.45	72.4	18.1	91.2	6,112
5頂芽程度	567.7	13.2	14.3	0.44	73.5	21.9	67.7	4,535
6頂芽程度	602.1	13.8	15.1	0.48	59.3	39.4	60.7	4,069

正品率・裂果率・収量は 2018～2020 年平均

(2) **１果/５頂芽以下の摘果**とした場合、351～550g の**商品性の高い果実割合が多くなります**（図１）

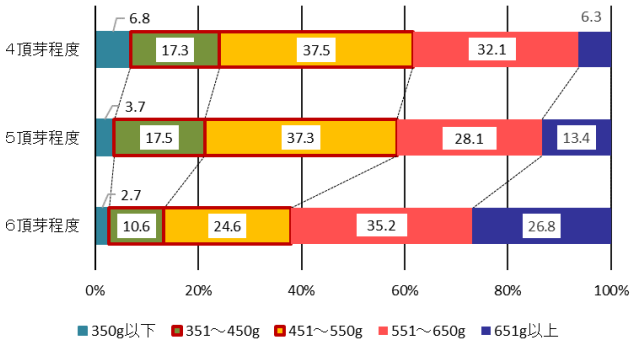

図１　各摘果強度における果実重の割合

【参考】ふじと大夢の比較

(3) 351～550g の果実は、551g 以上の大玉果と比較し、**裂果・ビターピットの発生が軽減されます。**
※データ省略（成果書を参考願います）

(4) (1)～(3)により、**「大夢」は、摘果強度を１果/５頂芽程度とすることで、550g を超える大玉果の発生と、それに伴う障害果の発生を軽減することができ、正品率※が高くなります**（表２）。

表２　「大夢」の摘果強度の評価

摘果強度	１果/４頂芽	１果/５頂芽	１果/６頂芽
評 価	△	○	×
理 由	・着果過多 ・商品性の高い果実割合が多い	・商品性の高い果実割合が多い	・正品率低い ・大玉果が多く裂果等障害果が多い

【２　留意事項】

(1) 本成果は、成木（８～10 年生）におけるデータです。
(2) 本試験において、荒摘果は落花 20 日後、仕上げ摘果は落花 40 日後を目安に行っています。なお、適切な摘果時期については、別途試験中のため、当面はこの時期を目安に摘果を行ってください。
(3) 収穫は、満開後日数 180～190 日、ヨード反応指数 1.0～1.5 等を基準に行ってください（平成 27 年度研究成果）

担当研究室　園芸技術研究部　果樹研究室
〒024-0003　岩手県北上市成田 20-1　TEL. 0197-68-4417　FAX. 0197-71-1083